

2006年10月23日

いすゞ、南アフリカに商用車販売の合併会社を設立することに合意

いすゞ自動車株式会社（以下いすゞ）は、南アフリカ共和国に CV（Commercial Vehicle）販売の合併会社、いすゞトラックサウスアフリカ [Isuzu Truck South Africa (Pty) Limited]（以下 ITSA）を設立することに合意した。

ITSA は、いすゞと GM サウスアフリカ（GM 100%出資、以下 GMSA）との合併で設立され、南アフリカおよびその周辺国でのいすゞ商業車のマーケティングおよび販売を行う。なお資本金は8千万ランド（約1.3億円）で、両社の出資比率はいすゞ 50%、GMSA 50%となる。

これまで南アフリカでは、GMSA がいすゞ製商用車とピックアップトラックについて、いすゞブランドにて GM ブランドの乗用車とともにマーケティング及び販売を行ってきた。今回、同地域における商用車事業のより一層の強化を図るため、いすゞのグローバル商用車販売ノウハウを導入することとし、これにより同事業をいすゞ主導で展開するため、商用車のディストリビューション機能を分離し、別会社化することとした。なお、ピックアップトラックは、従来通り GMSA がいすゞブランドにて取り扱っていく。いすゞ、GM は相互協力により、今後も南アフリカおよび周辺国における両社の事業プレゼンスの強化・拡大を進めていく。

ITSA では、いすゞN シリーズ（エルフ）、F シリーズ（フォワード）の販売から開始し、将来は C&E シリーズ（ギガ）の投入も検討していく。2005 年の同マーケットにおけるいすゞ商用車販売実績は 2,307 台（シェア 8%）、2007 年度の販売は 3,500 台（シェア 13%）を計画しており、2010 年には 5,600 台（シェア 20%）に販売を伸ばしていく。現在いすゞ商用車は同国第 5 位であり、マーケットリーダーはダイムラーグループで、シェア 22%となっている。

南アフリカは、2005 年自動車全需で 556,000 台、うち商用車が 27,000 台の市場規模であり、近年の資源市況高騰による経済成長が今後も続き、2010 年には自動車全需で 800,000 台、うち商用車が 31,000 台を超える商用車市場となり、豪州市場と並ぶ規模へ成長していくものと見込まれている。

以上

<新会社概要>

会社名	Isuzu Truck South Africa (Pty) Limited
代表者	小林 正利
設立予定日	2006年11月
所在地	南アフリカ共和国 ヨハネスブルク市
資本金	8千万ランド (約13億円)
株主	いすゞ: 50%、GMSA: 50%
主たる業務	南アおよび周辺国におけるいすゞ商用車販売